



サマースクール手引き

スポーツ文化における新型コロナウイルス対応ガイドライン



2020年7月1日

株式会社 スポーツ文化

【出典・引用】

旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き 第1版

(一般社団法人 日本旅行業協会)

1. はじめに

サマースクールは単なる観光旅行ではなく、教育的意義を主とし、参加者にとって強い印象として残り得る極めて価値のある宿泊を伴う体験活動です。

サマースクール実施において「新型コロナウイルス感染症」の感染防止を極力図り、充実したサマースクールを実現していくため、「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を参考に「サマースクールの手引き」を策定いたしました。

スポーツ文化は「サマースクールの手引き」に準拠した感染防止策の実施に努め、かつ参加するお子様、我々指導員、関連施設の皆様、そして保護者の皆様に安心・安全なサマースクールを提供すべく、最大限の努力と支援を行います。

2. 「サマースクールの手引き」について

旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き 第1版(一般社団法人 日本旅行業協会)を参考に「サマースクールの手引き」を作成いたしました。なお、新型コロナウイルスの最新の知見、皆様からのご要望、各関連施設の受入体制等を踏まえて、この手引きは随時見直しさせていただきます。

3. 具体的な対策にあたっての考え方(3項目)

- ① 主な感染経路である「飛沫感染」と「接触感染」のリスクに応じた対策を検討いたしました。
- ② 「飛沫感染」は、換気状況を考慮し、人と人との距離をどの程度確保できるかを評価いたしました。
- ③ 「接触感染」は、他者と共有する物品や手を触れる場所の頻度を特定し、対策を講じます。

4. 基本的な感染防止対策

- 感染予防の行動、手洗いや咳エチケット、乗車中、食事中、入浴中の会話を控える等の感染防止対策を事前から実施し、対策の理解・協力をお願いいたします。
- 密閉・密集・密接の3密にならないよう、換気や会話の抑制、人と人との距離の確保等、最大限の注意と配慮を行い、サマースクールを運営いたします。
- 手洗いや消毒の頻度を定期的・計画的に増やします。(消毒はアルコール・次亜塩素酸ナトリウム液を使用)
- 食事、入浴、就寝の時間以外は、マスクを着用いたします。(気候状況等により熱中症などの健康被害が発生する可能性が高い場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、マスクを外すよう指示する場合があります)
- 事前、出発前、並びに開催中の検温等、体調管理を徹底し、本人・ご家族の体調不良や感染者と濃厚接触の恐れ、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航経験並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、指導員及びお子様の参加は取り止めいたします。関連施設の従業員へも同様の対応をお願いいたします。
- 開催中も朝・夕の定期的な検温を実施し、体調不良者の発生の場合には、特段の配慮をいたします。

5. 指導員における対策

- 万一開催中に指導員が体調不良となった場合は、速やかに離脱させ、必要があれば代替要員を手配いたします。
- 指導員は予備として、携帯用の消毒キット、マスク、体温計、手袋等を用意いたします。

6. 参加者における対策

- 手を拭くタオルやハンカチ等は個人で用意(1日1枚使用)として、共用はしないよう指導いたします。
- 健康カルテにおけるアレルギーや既往歴の調査に加えて、新型コロナウイルスによる重症化リスクの可能性も事前に把握していただき、必要があれば主治医の見解を確認の上、スポーツ文化との協議により参加を検討願います。

7. 行程・運営における対策

- 事前の打ち合わせ等は、可能な限り通信手段を利用した非対面形式を採用し、感染リスクを軽減させるよう努力いたします。
- 開催前後の感染状況の変化等により、サマースクールの安全かつ円滑な実施が困難、または困難となる可能性が高い場合は、スポーツ文化と協議の上、中止、出発地に引き返す等の措置をお願いいたします。
- 感染防止対策の環境整備と定期的な実施、並びに健康観察等に必要な工程上の時間的な余裕を確保し、時間調整を行います。

8. 集合解散における対策

- 可能な限り、開放した広い場所を確保し、集合方法(バス号車毎の集合時間変更)、集合隊形(各班距離を取る)、並びに移動方法や経路について、余裕を持たせた体制・方法を確保いたします。また、可能な限り短時間で注意指導・点呼確認・解散時様子報告等を実施いたします。
- 見送りは保護者1名までに、ご協力をお願いいたします。

9. 貸切バス乗車時における対策

- 事前及び定期的な消毒と機能を最大限とした換気等可能な限り「密」を避ける工夫を講じて頂くよう依頼いたします。
- 利用する旅行サービス提供事業者は、適切な感染防止策をとっている事業者に限定いたします。
- 座席については、全員がマスクを着用した前提で、バス定員数の8割乗車を実施いたします。
- 席の間に飛沫防止の仕切りを設置いたします。
- バス内での飲食は水分補給のみといたします。

【参考】バス車内空気の換気による完全入れ替えに必要な時間:5~6分 常時作動

(バス製造会社ホームページより)

10. 宿泊施設・各入場観覧施設利用における対策

- 事前及び定期的な消毒と機能を最大限とした換気等可能な限り「密」を避ける工夫を講じて頂くよう依頼いたします。
- 感染が疑われるお客様が発生した場合は、速やかに情報共有していただき、保健所の指導に従った措置を実施していただきます。

11. 部屋生活時・野外活動時における対策

- 各部屋の使用人数は1畳あたり1人以下といたします。
- 持参の生活用品(干す物、着替え等)が共有環境にならないよう配慮いたします。
- 水分補給は可能な限り、個人の物とし、困難な場合は給水タンクで行いますが、使い捨てコップを使用いたしません。
- 共有物は使用後適宜消毒いたします。

12. 食事における対策

- 可能な限りセットメニューでの個別配膳を基本としていただきます。コップや箸等の食器は適切な消毒や洗浄、または使い捨て等の特段な対応を依頼いたします。
- 可能な限り対面を避け、対面となる場合も間に仕切りを配置いたします。
- 配膳は指導員が行います。

13. 入浴時における対策

- 班ごと可能な限り少人数での入浴で、マスクを外すので極力私語を慎み、速やかに行うよう指導いたします。
- 指導員はプール用マスクを着用して入浴指導いたします。

14. 就寝時における対策

- 就寝準備は可能な限り人と人との距離を取り、用品等を使用して仕切り、就寝後も人と人との距離が取れるよう配慮いたします。

15. その他

- スポーツ文化作成の保護者からの参加同意書
「サマースクールの手引き」に沿ったサマースクールへの参加についてご了承いただく為に、同意書への記入と提出をお願いいたします。
- 新型コロナ対策用の持参物について
 - ・マスク(1日1枚使用、記名入り使い捨てマスクが望ましい)
 - ・体温計・ハンカチ(1日1枚、手洗い後に個人で使用)・ティッシュ
 - ・マスクケース(マスクを置く際の清潔な袋※ジップロックなど)
 - ・ビニール袋(利用済みのマスクやティッシュを捨てる為)
- 消毒液について
 - ・手指消毒にアルコールを使用しますが、手荒れ等心配な方は消毒液の持参または入念な手洗いを指導いたします。
- 班行動中の注意事項
 - ・可能な範囲で「密を避ける行動」を実施し、定期的な手洗い消毒を実施いたします。並びに、行動経路・範囲を計画し、当日の変更内容も記録いたします。(感染経路・範囲特定の為)
 - ・持参物は可能な限り、個人管理とし共有環境にならないよう配慮いたします。
- 開催中の発症者発生時について
速やかに発症者の隔離・看護を行い、濃厚接触者の特定と隔離・健康観察を行います。管轄保健所と医師の判断に従い、発症者と濃厚接触者への対応を行います。また関係者の意見を参考に、事後の行程を検討・判断いたします。
※らくらく連絡網を利用し、保護者の方々にも同時進行にて状況連絡を行います。
- サマースクール終了後の健康観察
参加者ご本人、ご家族等も含め健康状態の経過観察を実施後目安として2週間程度行うようお願いいたします。

16. アドベンチャーキャンプにおける対策

- キャンプ場のモーターボート乗船時は、班ごと可能な限り少人数で乗船し増便いたします。
- 各班使用するバンガローは、小バンガローは2棟使用、大バンガロー・2階建てバンガローは1棟使用いたします。天候、部屋状況によりテントを使用いたします。部屋は常に最大限換気いたします。
- 数班で使用する食事棟は、班ごと指定の場所を使用します。
- 食事は基本、炊事担当指導員が調理し、各班指導員が配膳いたします。(飯盒による炊飯のみ実施予定)

17. あそび村自然キャンプにおける対策

- 部屋は常に換気し、熱中症対策としてエアコンを稼働いたします。
- 食事は施設内の食堂を使用し、配膳及び片づけは指導員が行います。